

空手の大家、喜屋武朝徳(きやんちょうとく)先生の教を正しく今に伝えている沖縄伝統空手道です。

●流派



国際沖縄少林流聖武館空手道協会

◎聖武館福岡支部長 **廣畑勝裕** (大野城市大池2丁目19-5)

◎聖武館会長 島袋善保 (沖縄県中頭郡北谷町吉原1003番地)

●伝統空手道の意義

勝ち負けを主体とした、いわゆるスポーツ空手とは異なり、伝統の技や型の意味を知り、それを鍛錬することによって「戦わずして勝つ」という武士道精神を養うことを目的とした**武道空手**です。

●正系統

喜屋武朝徳(故) → 島袋善良(故) → 島袋善保(会長) → **廣畑勝裕(福岡支部長)**



喜屋武朝徳 (故) (1870~1945)

明治3年沖縄県那覇市首里儀保にて誕生。明治8年、父(喜屋武朝扶)により空手道の手ほどきを受け、当時の空手界の重鎮の松村宗棍、泊の松茂良興作、親泊興寛など空手を伝授され、後に「首里」の達人となった。沖縄中に「チャンミグラー」の威名を知らぬ者はいないほどになったと言う。



島袋善良 (故) 1908~1969

明治42年11月5日沖縄県那覇市首里久場川に生まれる。昭和10年当時沖縄県読谷村の比謝川湖畔に住んでいた沖縄空手の大家「チャンミグラー」こと喜屋武朝徳先生の門を叩き空手道に入る。昭和27年、現在の沖縄県中頭郡北谷町に道場を開設。昭和40年沖縄空手道連合会会長就任。昭和42年沖縄空手道連名が範士十段の称号を授与。昭和44年61歳で逝去。



島袋善保 1943~

昭和18年10月11日沖縄県中頭郡北谷町に生まれる。昭和27年、父、島袋善良範士に師事し空手道を始める。昭和33年、中嘉真朝増士に師事し小林流を学ぶ。平成21年7月沖縄県空手連合会が範士十段の称号を授与。現、国際沖縄少林流聖武館空手道協会会長。沖縄県空手連合会特別顧問。



廣畑勝裕 1949~

昭和24年、福岡県田川郡川崎町に生まれる。昭和39年沖縄宮古流空手を習い始める。その後、空手の本場沖縄県で生粋の伝統空手道の修得を志し平成10年10月27日、沖縄県北谷町に道場を開設している国際沖縄少林流聖武館空手道協会会長、島袋善保範士十段に師事、同会長から直伝を受け聖武館空手を習得。平成12年4月4日、同会長から聖武館福岡支部の認定証を受領。同福岡支部長として大野城市大池を中心に聖武館空手道を正しく指導。令和6年(2004)3月9日教士七段取得。現在に至る。

●組織 (総本部以下世界200有余の本部及び支部を有する)

- ・総本部 (会長 島袋善保 範士十段) ~ 沖縄県中頭郡北谷町吉原1003番地
- ・沖縄大里支部 (島袋善俊) ・沖縄真志喜支部 (伊差川辰正) ・沖縄浦添支部 (新垣昌平)
- ・**福岡支部 (廣畑勝裕)** ・東京府中支部 (アーサーブライアン) ・東京足立支部 (後藤達一朗) ・兵庫尼崎支部 (池田勇生) ・鹿児島枕崎支部 (窪田義一) ・大阪枚方支部 (吉川竜太郎) ・神奈川支部 (大橋一輝) ・兵庫西宮支部 (ベリス ライモンド)
- ・米国本部 (ダンスミス) ・ヨーロッパ本部 (ジャマール・ミヤサラ) ・英国本部 (ラジャ・トーマス) ・インド本部 (ラトナパーラ) ・アラブ首長国連邦本部 (モハメド・イクバル) ・メキシコ本部 (ヘルベルト・メンデス) ・ロシア本部 (ミトロファノフ・アナトリー) ・フィンランド本部 (キム・ミツルネン) ・南アフリカ本部 (ヘンリー)

●型の種類 ~ (クーサンク - 他22型)

●稽古場所 ~ 福岡支部道場・東コミュニティセンター・大野幼稚園・香椎東公民館

●入会申し込み ~ **廣畑勝裕** 大野城市大池2丁目19-5

090-9569-8002・092-503-2653